



中央・総武緩行線運用改訂についての提案を受ける！

☆提案内容

- 御茶ノ水駅改良工事が一部終了することから、車両滞泊を御茶ノ水駅滞泊に変更するため運用改訂を実施する。
- 実施日・対象区所 2024年10月1日(火)・津田沼統括センター
- その他
 - ①早朝時間帯に運転している回送電車(津田沼発・御茶ノ水行)を前日の深夜帯へ変更する。
 - ②必要な準備等は実施する。

☆主な特徴点

- (組合)なぜ、現行のままではなく、運用改訂をするのか？
- (会社)駅改良工事が一部終了し、今後他の駅の工事も見据え、習志野構内のスペースに余裕を持たせるため。
- (組合)今後も御茶ノ水駅改良工事を継続するのか。また夜間の騒音対策は行っていくのか？
- (会社)一部工事は終了したが、今後も継続する。**また睡眠に支障が出る場合は、業者と協議する考えである。**
- (組合)御茶ノ水駅の乗泊はどのようなタイプの乗泊になるのか？
- (会社)各部屋にバス・トイレ(ユニットバス)があるホテルタイプ。寝室は4部屋で**清掃は毎日行う。**それ以外にFaceTimeで点呼や鍵管理機の置いてある部屋がある。
- (組合)どのようなセキュリティ対策を実施するのか？
- (会社)ICカードを当直から受け取り、乗泊の鍵管理機にかざし自分の部屋の鍵を取り出せる仕組み。
- (組合)周知と教育のスケジュールは？
- (会社)10月1日の実施までに、定例訓練で周知と教育を行っていく。
- (組合)車両はどのように運用していくのか？
- (会社)津田沼23:40着の列車を**津田沼駅でCTSが清掃を行い、上り中野終の後走りで御茶ノ水に回送する。**
- (組合)御茶ノ水泊りの津田沼統括センターの行路数は？
- (会社)運転士が2行路、車掌が1行路。
- (組合)今回の改訂でいくつの行路が変更になるのか？
- (会社)運転士8行路、車掌1行路。行路数は変わらないが、**中身が変わり出退勤等の時間も変わる。**
- (組合)手歯止めの取り扱いについてはどうするのか？
- (会社)**鉄製を使用する予定だが、具体的には決まっていない。千葉支社も入り首都圏本部と検討する。**
- (組合)現行津田沼駅の6番線に滞泊している列車は、改訂後どうするのか？
- (会社)現行通りである。

安全を最大の価値基軸に職場から議論を創り上げよう